

社会福祉法人 友愛十字会

ゆうあい

題字 初代総裁三笠宮崇仁親王殿下

2018

7・31

No.47



『みち』

主な記事

- 友愛十字会当面の課題 理事長 小林 和弘
- 砧エリア自立支援協議会の取組みについて . . . 砧エリア自立支援協議会会長
世田谷更生館サービス管理責任者 吉岡 一樹
- 節分の鬼 施設の垣根を乗り越えて 世田谷施設介護職員会議 山口 公司
武井 安浩
- 施設紹介 友愛ホーム 砧地域包括支援センター(砧あんしんすこやかセンター)
東京聴覚障害者支援センター 友愛荘
港区立障害保健福祉センター みなとワークアクティ
- 善意のかずかず

友愛十字会当面の課題

社会福祉法人友愛十字会

理事長 小林 和弘



平成三十年も気がつけば既に後半に入り、来年五月からは新たな元号になるという節目の時期を迎えていることから、日本の内外でも大きな動きがみられる昨今、この九月には友愛十字会も創立から満六十八年となる。当面する課題についていくつか触れてみたい。

この六月に承認された友愛十字会の平成二十九年度の決算についてはかなり厳しい結果となった。特に、いくつかの施設における数

字は当初の想定を上回る悪いものとなり、深刻に受け止めている。

原因は利用者数や利用率の伸び悩みということのはつきりしているが、これがなぜ生じているかはそれぞれの施設が置かれた状況により異なる。現状の把握と分析が必要なゆえんである。本年度は介護報酬と障害福祉サービス費の改定が行われ、それぞれ若干とはいえプラス改定が行われたこともあり、このプラス改定の果実をしつかりと取り込んだ施設経営、事業運営に今まで以上に取り組んでいく必要がある。

平成三十年度が指定管理の十年目となる港区立障害保健福祉センターは非常に重要な年を迎えているが、南麻布地区の新施設に区の児童発達支援センターが開設され、この中に「こども療育パオ」が移転するのが平成三十二年度とされたことに伴い、平成三十一年度は一年間のみの非公募プロポーザルという形で友愛十字会のみが

指定管理候補者としての申請を行い、現在港区での審査が行われているところである。承認されれば一年間の延長となり、平成三十二年度からの本格的な指定管理者の公募スケジュールに臨むことになる。港センター事業は友愛十字会の中でも事業規模、職員数で三分の一を占める主要事業となっており、法人としても新たな指定管理を継続して獲得すべく全力を挙げて取り組む必要がある。このため、法人の常務理事二人制を復活することとし、江原センター長を港センター担当の常務理事として六月から発令したところである。

その建て替えが急務とされていた。また、建て替えるなら経営的な面からも百床程度に規模を拡大することが必要と考えていたが、敷地も狭く、急傾斜地に隣接していることなどから現在地での建て替えは困難との結論に至り、周辺で建て替え候補地を探していたところ、町田駅にも若干近くなる土地が見つかり、地主さんの理解もあり定期借地で借りられることで現在話が進んでいる。町田市の第七期の介護保険事業計画にも友愛荘の移転改築について記載されており、今後、東京都からの補助金の確保、福祉医療機構からの資金貸付など大きなハードルがあるが、法人としても久しぶりの大型施設整備案件であり、しっかりと経営改善計画を前提にした償還計画を策定し、友愛十字会らしい新友愛荘の実現に向け全力で取り組むこととしている。

建築から四十三年を経過した町田市にある友愛荘は建物の経年劣化がかなり進んでいることから、

砧エリア自立支援協議会の 取り組みについて

砧エリア自立支援協議会会長
世田谷更生館サービス管理責任者

吉岡 一樹

皆様、「自立支援協議会」の活動についてご存知でしょうか？

自立支援協議会は、「障害があってもなくても、誰もが安心して地域で自立した生活を継続することができると社会的実現を目指し、その地域にある課題の抽出と解決、そのためのネットワーク作り」を目的に活動しています。

平成24年4月1日に障害者自立支援法（現・障害者総合支援法）において「自立支援協議会」は法定化されました。同法の第89条の3第1項で、自立支援協議会の設置について、第88条第9項では、障害福祉計画の策定・変更に際しての自立支援協議会に関する取り扱いが規定されており、世田谷区においても「自立支援協議会」の意見を聴いた上で障害福祉計画が策定・変更されているところで

す。

自立支援協議会の運営体制については、各自治体により異なりますが、世田谷区の場合、5地域（世田谷・北沢・玉川・砧・烏山）の「エリア自立支援協議会」と「地域移行部会」「虐待防止・差別解消・権利養護部会」の2部会が設置され、世田谷区全体の協議会として「世田谷区自立支援協議会」（以下、本会）が設置されています。

本会の委員や各エリア自立支援協議会の運営会議委員は、当事者やその家族、学識経験者、教育関係者、相談支援事業者、サービス提供事業者、保健医療関係者、権利擁護関係者、民生委員等により構成されています。

私は4年前から「砧エリア自立支援協議会」の運営会議に参加させていただいておりますが、砧エリア自立支援協議会では、昨年度からライフステージに応じた切れ目のない支援を実現するために、運営会議の委員が「子どもチーム」「成人チーム」「高齢チーム」に分かれて活動しております

す。

子どもチームでは「教育と福祉の連携」をテーマに、砧地域の区立小学校にインタビューやアンケート調査へご協力いただき、成人チームでは「医療と福祉の連携」をテーマとして、砧地域で障害児・者に対する医療や地域医療へ熱心に取り組まれている医師等の皆様にインタビューさせていただいた他、障害福祉関係事業所へのアンケート調査を実施しました。高齢チームでは、「介護支援専門員と相談支援専門員の連携」をテーマに、交流会等を開催し、両専門職の相互理解と連携を深める取り組みを推進しているところ

です。これらの取り組みについては、これら2回開催している「砧エリア自立支援協議会」や他エリアの運営委員皆様からご意見をいただいた上で、今年1月に開催されました平成29年度第2回の本会で、世田谷区自立支援協議会全体で教育・医療・福祉の連携に関する課題解決に取り組みたいと報告・提案させていただきました。

準備不足の面もありましたので、

本会当日は、委員の皆様にご理解いただけるか不安を抱きながら臨みましたが、「砧エリアだけではなく、ぜひ区全体で取り組んでいただきたい」「フィールドワークがすばらしい」等の多くの後押しをいただき、その結果、今年度、本会に「子ども支援検討ワーキンググループ」を設置し、教育・医療と福祉の連携について、その課題解決に向けた検討が開始されることになりました。

砧エリア自立支援協議会運営会議委員の皆様は、「課題の解決に向けて一歩でも前に進めたい」との思いで活動を続けており、「子ども支援検討ワーキンググループ」の設置がゴールではなく、目指すところは先にあります。

砧エリア自立支援協議会に、大きな予算や権限はありませんが、志は常に高く、その実現に向けて一歩ずつできることから取り組んで参る所存ですので、今後とも砧エリア自立支援協議会へのご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

節分の鬼

施設の垣根を乗り越えて・・・

世田谷施設介護職員会議

山口 公司
武井 安浩



やさしい鬼が多いですよ！

世田谷施設では各施設の担当介護職員が月一回定例会議を実施しています。各施設の活動予定や報告の他、事故及びその対策の報告なども共有しています。そんな中、「他施設の業務を知らない」「他施設の職員を知らない」「他施設の利用者を知らない」などの意見がきっかけとなり、施設間交

流ができないかという議題が挙がりました。互いの施設への交換研修など、意見がでしたが、人員の確保や受け入れ態勢の難しさもあり、なかなか実現できない状況でした。そのような状況の中、イベントの合同開催案が上がりまし



まずは節分の鬼役を介護職員会議から数名が担当し、複数の鬼で迫力ある雰囲気を出すことに成功しました。その後、鬼以外にも何かできないかと考え、楽器隊を結成。平成29年度にはクリスマス



練習した曲はわずか二曲でしたが、拍手と声援、笑顔をいっぱいいただきました。

会を開催し、ハンドベルの演奏でクリスマスの雰囲気を演出することができました。

今後の活動として、ゆうあいふ

れあい祭りコンサートでの演奏や、各施設での演奏会、地域イベントなどでの演奏を目標に、まずは世田谷各施設の行事へ勝手に参加し（実際にはしっかり計画しますが）ご利用者様に楽しんでもらうとともに、友愛十字会全体を盛り上げたいと思います。なお、一緒に盛り上げて下さる方『大大歓迎』です。随時隊員募集しています。楽器の出来ない職員も歌や踊りでの参加をお待ちしております。

一緒に「笑顔」を作りませんか？



養護老人ホームの現状と「自立支援」

友愛ホーム

養護部長 早田 政治

養護老人ホームの入所対象者は、65歳以上の低所得の方で、常時の介護は必要ではないが身体または精神の機能の低下が認められ、さらに、家族等による援助を受けることができず自宅での生活が困難な方とされています。

友愛ホームの利用者の現状は、入所定員70名、在園者67名（平成30年4月1日現在）、男性27名、女性40名、年齢59～96歳（平均81・6歳）、在園者の平均入所期間は4年2か月、要介護認定を受けている方は、67名中36名（53・7％）です。特別養護老人ホーム入所条件の要介護度3以上が10名（14・9％）います。要介護度が認定された方の介護保険サービス利用状況は、入浴サービス、訪問リハビリ、買い物サービスやデイサービスの利用などがあります。それ以外にも必要な支援は職員が担いますがマンパワーの不足を痛感することがあります。特に病院への通院同行の支援に割く時間は多く、その分、日常生活の自立度が高い利用者と関わ

れる時間は年々減っています。利用者の中には、様々な事情を抱えた方がいて、アパート暮らしで社会復帰を目指す方もいます。身体的に健康な方もおり清掃や行事準備などのお手伝いをしてくださる方もいます。今年も盆踊りでは、利用者がポップコーンの模擬店を出店し、地元町会祭りの模擬店にも参加します。要介護者は増えていますが、自立度の高い方もおり、両者の満足を得るのは難しいですが、いずれも「自立支援」の視点を大切にしています。

砧町町会盆踊りにて
7/21(土)・22(日)



地域の皆さまと共に生きる

砧地域包括支援センター

センター長 山本 恵理

砧あんしんすこやかセンターは、介護保険法に基づく地域包括支援センターです。高齢者のための相談窓口として開設されましたが、平成26年からは障害のある方や子育て中の方など、年齢に関わらず幅広く相談をお受けしています。世田谷区のまちづくりの拠点である「砧まちづくりセンター」と「社会福祉協議会砧地区事務局」と同じフロアーにあり、この三者が連携して「福祉の相談窓口」として地域の身近な福祉の相談に対応しています。

三者が連携して取り組んでいるひとつに、大蔵住宅への支援があります。大蔵住宅は高齢化率が60％を越える大規模団地ですが、現在建替事業が進んでいます。あんしんすこやかセンターは戸別訪問をし、住民から困りごとや不安を聞き取りました。一方、社会福祉協議会は周辺の企業や学校などに支援を呼びかけ、住民が課題に対応できるよう働きかけました。そしてまちづくりセンターは三者を

とりまとめつつ、大蔵住宅自治会を支援しました。その結果「大蔵住宅の今後をみんなで考える会」が発足し、困りごとを気軽に話し合える「ひまわり喫茶」などの活動が始まりました。



あんしんすこやかセンターイメージキャラクター あんすこ君

雨の板橋ふれあい祭り

東京聴覚障害者支援センター

所長 高橋 秀志

「板橋ふれあい祭り」が平成30年6月10日に開催されました。このお祭りは今年で36回を迎えています。

板橋区、教育委員会、板橋区医師会、社会福祉協議会、民生児童委員協会、東京都赤十字血液センター等々からの後援もいただき、区立平和公園を主会場にして長い間続いている行事の一つです。

参加団体は、障害児・者の関連施設をはじめ、ボーイスカウト団、パフォーミングス集団、劇団、音楽グループ、大学サークル、地域の自主団体や親の会、小学生・中学生のグループ等子供から高齢者の幅広い年齢層と、多種多様な65団体超が参加しています。

各事業所の作品販売や模写店、フリーマーケット、演劇披露などがあり、多くのボランティアさんの協力で大勢の方が足を運ぶ一大地域イベントとなっているのです。

聴覚支援センターは10年ほど前から実行委員として参加させていただき、日



手話コーナの板橋区長



36回集合写真

中活動で製作した陶作品やアクセサリー等自主製品の販売を行っています。今回は残念ながら台風の影響もあり雨でした。センターは雨天時不参加と届けてあり活動はしませんでした。でも雨天バジョンに参加した団体は約35団体あり、小雨の中での模写店やフリーマーケットは行われましたし、作品販売や音楽、演劇、体験コーナー等は隣接する地域センターで実施されました。

板橋ふれあい祭りの特色は、当事者が実行委員長、副委員長となり、会全体を進行していることです。併せて割振られた実行委員やボランティアの方々をサポートしていくスタイルで行っていることです。

36回テーマは「誰もがこの板橋(まち)で豊かに生きていくために楽しく！なかよく！元氣よく！」でした。次回は雨天でも、元氣が出るふれあい祭りに参加したいと考えています。

園芸ボランティアのご紹介

友愛荘

営繕手 田中 智啓

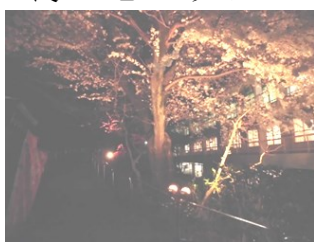
友愛荘は東京都町田市図師町に位置し、町田駅からバスで30分程乗った所にある自然の多い地域です。施設が谷地に建っているため、不都合な点もありますが、自然に恵まれた友愛荘では四季の移り変わりを感じ楽しむ事ができます。

春には桜のライトアップをして夜桜を満喫し、花壇には彩り豊かに、パンジー、チューリップ等が咲きました。また、たけのこ、うど、三つ葉、ヨモギなど食材も敷地内で沢山収穫でき、利用者様の食事に彩りを添えています。これからキウイも実り、利用者様と収穫して、食後のデザートやジャム作りに活用する予定です。

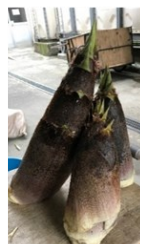
6月には園庭の



花壇



夜桜



← 大きな筍が収穫できました



園芸ボランティアの皆様



あじさいも見事に咲きました。この美しい風景は、園芸ボランティアの方々がい日も暑い日も、また風の日も、丁寧に花壇の手入れをしてくださっているからなのです。美しい花壇で利用者様も喜ばれ、また事務室から眺める職員も癒されています。花壇だけではなくトイレにも花が飾られ、枯れているのを見た事ありません。常にちょっとした気遣いをして下さっています。友愛荘はこのように園芸だけではなく、様々な場面で多くのボランティアの方々を支えられています。

宿泊訓練 ～箱根方面～

港区立障害保健福祉センター

みなとワークアクティ

施設長 田村 英治

みなとワークアクティでは、1年に1度、1泊2日の宿泊訓練にをかけています。

行き先も職員が決めるのではなく、利用者の皆さんに意見をいただきながら決めていきます。

まず、計画の段階から利用者代表のリーダー2名に参加してもらいます。

事前に何をしたいか話し合いを実施し、その希望が叶えられるプランを旅行業者と職員がいくつか準備し、そのプランの中から職員とリーダーで候補を絞ってもらいます。

次に職員とリーダーの司会で全利用者さんに対しプランのプレゼンを実施し、最終的にどのプランが良いか選んでもらいます。

その結果、最終候補の「箱根方面」と「草津方面」の2つから選ばれることになり、今年度は「箱根方面」の宿泊訓練に決まりました。

草津の湯も捨てがたかったのですが、距離も少しあり、ゆつくりする時間が無いことから箱根方面となりました。

行き先とプランが決まれば、後は宿泊訓練を待つのみ。
今年は7月5・6日で出かけることになりました。

事前の天気予報では雨。しかも激しい雨が予想されていました。

しかし、当日の朝、港区は雨が止んでいました。日頃アクティで一生懸命仕事をしていたご褒美でしょうか。

バスは高速道路に乗り、途中サービスエリアで休憩をとり小田原の鈴廣へ到着。鈴廣で昼食を食べました。昼食はボリューム満点で、もちろん蒲鉾も食べました。

続いては、楽しみにしていた人が多かった芦ノ湖の海賊船。しかし濃霧と強風により欠航となってしまいました。宿泊訓練のリー



水族館「箱根園」

ダーはこんなこともあるのかと、ちゃんと別メニューも考えていました。

日本一標高の高いところにある水族館「箱根園」に行き先を変更。巨大な魚やアザラシ、もちろんニモもいました。

そろそろ疲れたのでホテルにチェックイン。ホテルは箱根湯本温泉ホテルおかだ。到着して一息ついてみんなで温泉へ。

バス移動でしたが、それぞれの所で歩いた疲れと、日頃の仕事の疲れを癒すことができました。

温泉の後は夕食。リーダーの乾杯の発声でジュースで乾杯。お刺身にお肉、ごはんのおかわりもOK。夏らしくスイカのデザートもありました。

食後は恒例のカラオケ大会。日頃の練習の成果を十分に発揮されていました。カラオケが苦手な方はゲームセンターや散歩を楽しみました。

みんな初日を充分楽しめましたし、明日もあるので早めに就寝しました。

翌朝は激しい雨が降っていました。しかし朝食のバイキングを食べている間に小雨になり、バスで出発する時点で、ほとんど雨は止んでいました。

2日目のイベントはアイスクリーム作りです。

酪農王国オラツチェに行きました。少し雨が降っていたので動物を見ることは殆どできませんでしたが、昼食のチーズハンバーガーを食べたあと、みんなでアイスクリーム作りをしました。



アイスクリーム作り

日頃製菓事業で計量をしている方は腕の見せ所です。

しっかりと牛乳などの計量を行い、おいしいアイスクリームを作ることができました。

これで今回の宿泊訓練は終わりです。ホテルでのマナーや集団行動は貴重な経験となりました。

最後に、今年度の宿泊訓練のリーダーを担当してくださったお二人、お疲れ様でした。

善意のかずかず

次の方々から利用者及び施設に対してご奉仕等を賜り、また、善意の金品の寄贈を頂きましたことに對して、心より御礼申し上げます。
(平成29年12月1日〜平成30年6月30日)

奉仕活動

○世田谷更生館

青山 健児
秋山 一代
石合 幸雄
伊藤 幸子
伊藤 たけ子
大島 公子
金子 伸恵
木村 和江
黒田 真実
小林 健太郎
穴戸 美菜
原岡 美之
樋口 美子
平岡 佳代
福永 春美
渡邊 砂代里

○友愛園

市毛 昌子
栗原 美和子
高木 和子
成田 信子
箕輪 千賀子
萩田 千賀子
慶應義塾大学
ライチウス会
天理教
北多摩東部支部

○友愛デイサービス センター

岸井 豊子
久保山 由美子
小島 修治
関澤 勢津子
山川 敏江

○友愛ホーム

末木 江津子
高安 瑠璃子
棚網 純子
中山 康

○砧ホーム

馬場 武子
早田 由貴子
深井 真理子
山下 ヤス
山田 たき子
米田 恵子
砧教会 教会学校
世田谷区立 砧幼稚園
天理教北多摩東部支部

○砧デイサービス センター

Makalapa Hula Hula
まほの会

○友愛荘

道下 恵美子
石川 信子
石原 信行
河端 喜美子
木城 守子
斎藤 妙子
佐藤 君子
長尾 さな江
松永 誠子
宮坂 貴三江
望月 紀子
矢口 里子
山本 美智子
渡辺 喜美代
桜美林幼稚園
グループ・そらまめ
桜台保育園
寿々の会
天理教北多摩東部支部
町田ときわ保育園
まつびるま
歌月グループ
山崎友好会

○砧あんしん すこやかセンター

清水 校子
輝 真理子
西多 法子
野崎 眞喜子
橋本 福二
深野 木 馨
間瀬 紘子
山本 房江

○東京聴覚障害者 支援センター

青野 美重子
石原 美希
井上 夕貴
卯塚 江利子
奥村 睦
金井 誠実
木村 亜矢子
鈴木 智代
曾輪 信明
高橋 寛斗

寄付金

○本部

小原 靖夫
塚原 ヤエ子
関東ボウリング場協会
JA東京中央
千歳地区女性部
昭和女子大学付属
中高部生徒会
榊福祉施設共済会

○友愛ホーム

上井 正次
馬場 カツ
砧教会・教会学校

○砧ホーム

高橋 美紀子

○東京聴覚障害者 支援センター

糟谷 昭雄
堀江 承元

○友愛荘

矢口 里子
渡辺 喜美代
大正琴寿々の会
根岸こなや踊り
友愛荘家族会

○寄付物品

○砧ホーム

高橋 良子

○砧デイサービス センター

中村 和江
高橋 良子

○友愛荘

岸本 聖子
中村 宏子
根立 善幸
波田野 喜美子
木曾三寿クラブ

(敬称略)

編集後記

元来夏が好きな小生ですが、今年ばかりは流石にご馳走様であります。「未だ7月？」とカレンダーを疑うこともしばしばで、熱波の影響で季節用の体内時計が乱れてしまったのか、幻覚めいた妙な感覚に取りつかれております。

さて、さような酷暑に見舞われながらも、恒例の法人盆踊り大会は盛大に開催されました。印象的でしたのは、砧町会長長島様のご挨拶での「友愛十字会は、この砧の町になくはない存在です。」というお言葉です。とても感激をして、目頭が熱くなりました。暑さの中での記憶でしたが、「まさか幻聴？」でないことを祈りつつ、お言葉に鞭を打たれて努力を誓い、奮闘する今日この頃です。



ゆうあい編集委員会 副委員長

砧ホーム

園長 鈴木 健太

ゆうあい 第四十七号

平成三十年七月三十一日

発行 社会福祉法人 友愛十字会
発行人 金井 博
所在地 東京都世田谷区
電話(〇三)三四一六・三二六四
http://www.yuai.or.jp

表紙写真…東京聴覚障害者支援センター 高橋秀志